

詐欺被害を未然防止

岐阜信金支店 土田さんに感謝状

各務原署



感謝状を受け取った土田勇次さん(中央)と高井千代美支店長(左)＝各務原署

各務原署は、各務原市内の80代の女性が特殊詐欺の被害に遭うのを防いだとして、岐阜信用金庫鵜沼支店(同市鵜沼東町)の副長土田勇次さん(37)らに感謝状を贈った。

署や支店によると、6月19日午後2時ごろ、女性が支店の窓口を訪れ「定期を解約したい」と申し出た。応対した女性職員が不審に思い、連絡を受けた土田さんが女性に話を聞いた。沖縄県で暮らす息子を名乗る男から「仕事中に重要書類を入れたかばんを紛失した。

その損害金を立て替えてくれた上司の母らが夜に自宅に行くので、現金を渡してほしい」などと電話があったと聞かされ、土田さんは特殊詐欺と判断。息子に確認するように説得した。

応じなかった女性は退店したため、土田さんは高井千代美支店長(58)を通じて110番。土田さんらも女性を探しに店外に出て、路上で女性を発見し被害を防いだ。

女性は退店後にATMで現金を引き出していた。署で山田昭仁署長から感謝状を受け取った土田さんは「被害を防げて良かった。他の職員とも体験を共有し、(被害防止に向け)意識付けしたい」と話していた。(松田尚康)